

第20回小学生スーパードッジボールKOTOチャンピオンズリーグ予選会

第19回 スポーツ会館 小学生スーパードッジボール大会



開催日時： 令和8年11月8（日） 午前9時～午後5時

（午前の部：3・4年生、午後の部：5・6年生）

会 場： 江東区スポーツ会館（北砂1-2-9）

主 催： （公財）江東区健康スポーツ公社 江東区スポーツ会館

協 力： 江東区スポーツ推進委員会

申込開始： 令和8年9月15日（火曜日）

申込締切： 令和8年9月29日（火曜日） 必着

第19回 スポーツ会館 小学生スーパードッジボール大会 参加要項

【開催日】 令和8年11月8日（日曜日）

【場所】 江東区スポーツ会館 3階 大体育室

江東区北砂1-2-9 電話 03-3649-1701

ご来館は公共交通機関または自転車をお願いします。

駐輪場スペースには限りがございます。

スポーツ会館のお近くにお住まいの方は徒歩などで来館いただくなどご協力ください。

【受付場所】 スポーツ会館 1階ロビーにて学年ごとに受付けます。

午前の部 3年生・4年生の受付時間 8時30分～ 8時45分

午後の部 5年生・6年生の受付時間 13時15分～ 13時30分

※受付は、必ず各チーム引率者が行ってください。（選手では受付けません。）

※選手と引率者は3階小体育室に荷物を置き、3階大体育室へ移動、待機してください。

※1・2試合目参加チームは、試合の準備（水筒等を持参）をして3階大体育室へ移動してください。

※午前の部は8時50分（午後の部は13時35分）より小体育室にて各チーム引率者1名にマナーアップのお話がありますので
ご集合ください。

【開会式】 9時から大体育室にて行います。（終了後、準備体操を行います。）

※開会式は午前の部（3・4年生）のみとし、午後の部（5・6年生）はおこないません。

午後の部（5・6年生）は準備運動・注意事項の説明のみおこないます。

試合を見学・応援する方は、同室場の防球フェンスの外側からお願い致します。

※開会式終了後、1試合目のチームはコートへ、2試合目のチームは招集場所に移動してください。

【試合開始】 午前の部 9時30分開始予定

午後の部 14時00分開始予定

【試合内容】 1. 組み合わせは、事前に大会委員により責任抽選を行いました。

2. 競技は、前半5分・ハーフタイム1分・後半5分で行います。

（1試合の所要時間 15分）

3. 試合は、別紙進行表に沿って行います。

【表彰式】 午前の部（3・4年生）表彰式・記念撮影

午後の部（5・6年生）閉会式・表彰式・記念撮影

※ 進行状況により時間は変更となる場合がありますので、会場アナウンスをご確認ください。

※ 表彰式は、決勝リーグに進出したチームが対象です。

※ 決勝リーグに進出しないチームは、試合終了後自由解散となります。

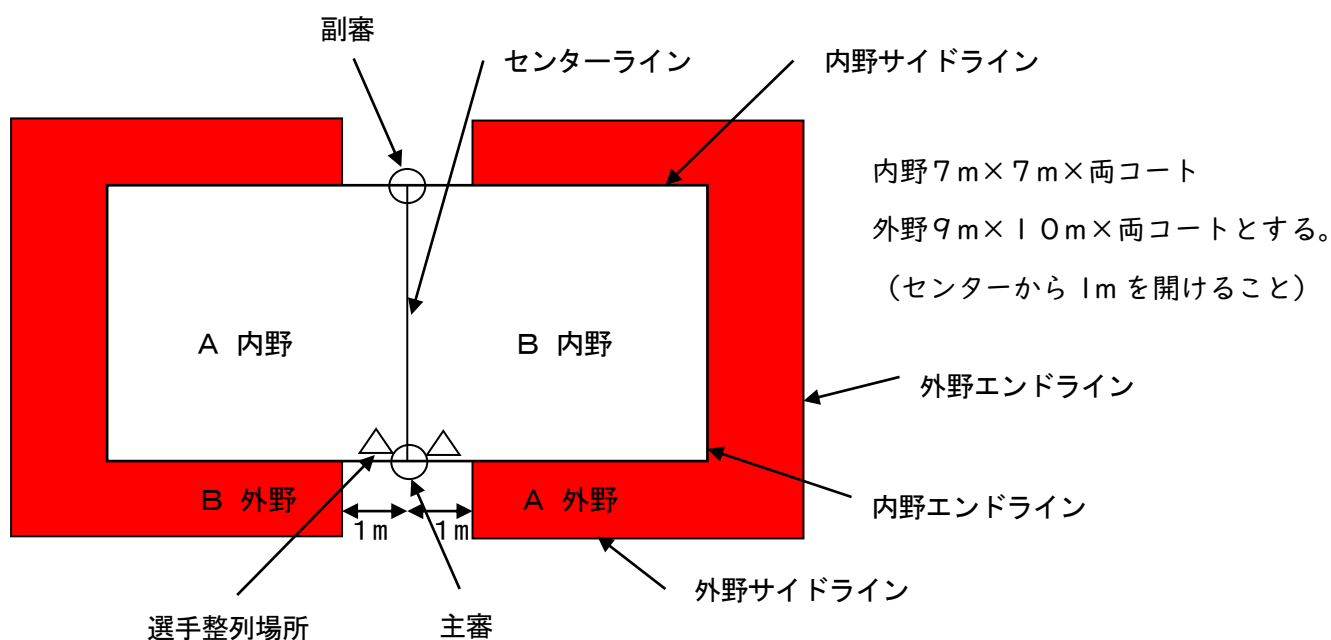
【賞 品】	各 学 年 1 位	賞状・優勝トロフィー・金メダル・ボール
	各 学 年 2 位	賞状・準優勝トロフィー・銀メダル
	各 学 年 3 位	賞状・3位トロフィー・銅メダル
	各 学 年 4 位	賞状

【競技規則】

● 第1章 競技場および用具

第1条 競技場（コート）

1. 内野の大きさ 7 m × 14 m
2. 外野の広さ サイドは、1.5 m とする。
エンドは、3 m とする。
3. 線の幅 5 cm とし、上記の長さは線の中心から中心までの距離とする。



第2条 用具

1. 試合球は日本ドッジボール協会公認3号球（公式試合球）を使用する。
2. ユニホームは、同一チームであることが識別できる服装とし、ゲームベストを着用する。
なお、上履きは各自で用意する。（ゲームベストは、大会本部で用意する。）

● 第2章 チーム編成

第3条 競技チーム

1. チームは、同学校、同学年の競技者8名以上15名以下の男女混合で編成し、必ず各試合に登録メンバー全員を出場させることとする。また、試合（前半・後半）には、必ず1名以上の男子・女子を参加させること。
2. メンバーの編成は、予選会に登録したメンバーのみとし、最終登録確認締切日までに6名揃わない場合は辞退となる。その場合は、予選会3位のチーム（辞退の場合は4位チーム）を繰り上げ出場とする。
3位・4位チームとも辞退の場合、それ以下の出場は認めない。
3. 競技のスタートメンバーは8名（内野5名・外野3名）とする。

けが人等で7名以下となった場合においても外野は3名の配置とする。

4. 競技開始時に5名以下のチームまたは、男子及び女子のいないチームは失格となる。

5. 競技者のうち1名をキャプテンとし、キャプテンはキャプテンマーク（リストバンド）を着ける。

● 第3章 競技方法

第4条 競技方法

1. 競技開始

(1) 競技は、チーム対抗形式で、1チーム8名の競技者がコートの中に入って行う。

(2) 両チームは、センターラインをはさんで並び、挨拶を行う。

(3) 競技は、主審からの「ゴーファイト」の宣言で開始される。

2. 競技時間および競技終了

(1) 競技時間は、前半5分・ハーフタイム1分・後半5分とする。

(2) 競技時間内であっても、一方のチーム全員がヒットされた時は、ノックアウトになり競技終了となる。

(3) 主審が特別に時間を止めない限り、どんな時でも競技時間は進行している。

(4) 主審の宣言で競技は終了する。

(5) 連続しての試合でない限り、試合終了後は速やかに退場口より退場すること。

3. 競技

(1) 主審の「ゴーファイト」の宣言とともに、主審から定められたチームへボールを渡し試合は開始される。その際、第一投者は自コートの中心に立ち主審よりボールを受ける。

(2) 試合前後半ともに主審から見て右側のチームのボールから試合開始とする。

(3) 競技の目的は、相手チームの競技者を全員ヒットすることにある。

(4) ヒットとは、相手チームの内野にノーバウンドのボールを当てそのボールが地に着くまでに相手の内野の誰かが捕球できない状態をいう。

(5) 複数の内野に当たったり、触れたりしたボールを捕球できなかった場合は、そのボールに当たり触れた内野全員がヒットされたこととなる。

(6) 捕球とは、一時的ではなく、完全にボールをキャッチし、コントロールしている状態をいう。

(7) ヒットされた内野は、速やかにゲームベストを脱いで外野へ行かなくてはならない。その際、外野に出るまでにボールに触れてはならない。（ダブルタッチの禁止）

(8) 競技者がヒットされた場合、ゲームベストを着けている元外野の競技者は速やかに内野に入らなければならない。なお、この内野に移動中の競技者にヒットしてはならない。

(9) 味方同士のパス回しは20秒以内とする。20秒を超えるパス回しはオーバータイムの反則となる。

(10) ラインクロスとラインオーバーは、いずれもラインアウトの反則となる。なお、ラインクロスとラインオーバーは、一連の投球動作が終了するまでとする。

(11) 両外野エリアより外に出てしまったボールは、最後にボールに触れた競技者の相手チームの内野ボールとなる。

(12) メンバー交代は、ハーフタイムにのみ行うことができる。ただし、けが等により主審が認めたときは、途中交代もできる。

(13) 危険防止のため、首から上に投げられたボール（パスボールは除く）はヒットにならない。（ヘッドアタックの禁止）なお、ヘッドアタックの反則は、主審の判断による。

(14) ボールを捕球してから5秒以内に投げなければいけない。5秒を超えるボール保持は、オーバータイムの反則となる。

(15) ボールデッドは、ボールがコート外の床についた時点とする。

4. 反則

- (1) オーバertimeを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (2) ラインアウトを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (3) ダブルタッチを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (4) ヘッドアタックを宣告されるとヒットされた競技者はセーフになり、そのチームの内野ボールなる。
- (5) 故意のキックやヘディングなどによるプレーは、相手内野ボールとなる。
- (6) スポーツマンシップに反する行為は、相手内野ボールとなる。

5. 注意

- (1) 競技者とキャプテンは、競技マナーに反する行為があったときは、注意を受けることがある。
- (2) 競技者が、軍手の着用や過剰なテーピング等、ボールを投げたり捕ったりする時に有利になることを行うことは認めない。

● 第4章 勝敗の決定

第5条 勝敗の決定

1. ゲームの勝敗

- (1) 前・後半ごとの試合時間内に、相手選手を全員ヒットしたとき。
- (2) 前・後半ごとの試合終了時に、ゲームベストを着用している選手を数え、ゲームベストを着用している選手が多いチームが勝ち。(前・後半のゲームベストのトータルで勝ち負けを決定。前・後半ごとの勝敗は関係しない。)

2. 予選・決勝の勝敗

- (1) 予選・決勝ともに勝ち点制とし、ゲームに勝つと勝ち点3、引き分けると勝ち点1、負けると勝ち点0とする。勝ち点が多いチームが上位となる。
- (2) 勝ち点と同数の時は、全試合のベスト着用数の差(自分のチームのベスト数-対戦チームのベスト数)が多いチームが上位となる。

(3) 勝ち点、全試合のベスト着用数の差も同数の場合

① 2チームが同数の場合

イ、当該リーグで勝ったチームが、上位となる。

ロ、当該リーグで引き分けの時は、3分間の決定戦を行う。その際、キャプテン同士のジャンケンにより勝ったチームからのボールスタートとする。

② 3チーム以上が同数の場合

ハ、当該リーグ全試合の相手チームの残りベスト数の合計が少ないチームが上位となる。(相手をヒットした数が多いチームが上位となる。)

ニ、上記ハも同数の時は、当該リーグ全試合の自チームの残りベスト数の合計が多いチームが上位となる。

ホ、上記ハ・ニの方法でも勝敗がつかない場合は、総当たりで3分間の決定戦を行う。

その際、キャプテン同士のジャンケンにより勝ったチームからのボールスタートとする。

- ③ 3分間の決定戦でもベスト数が同じ場合、3分間の決定戦終了時のまま試合を継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。

(ヴィクトリーポイントゲーム (Vポイントゲーム))

(4) 対戦しないチームが出るリーグ戦の順位について

勝ち点（勝ち3点、引き分け1点、負け0点）で決定し、勝ち点が同数の場合は、当該チームの直接対戦の結果で決定する。なお、決勝進出チーム決定において、勝ち点が同数で直接対戦していないチームがあった場合、または、直接対戦が引き分けとなった場合においては、3分間のみの決定戦を行い勝ったチームが上位となる。

3分間のみの決定戦でもベスト数が同じ場合は、決定戦終了時のまま試合を継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。(ヴィクトリーポイントゲーム (Vポイントゲーム))

なお、決定戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

(5) トーナメント戦で、前・後半のゲームベストが同数で引き分けの場合について

3分間のみの延長戦を行う。3分間の延長戦でもベスト数が同じ場合、延長戦終了時のままゲームを継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。

(ヴィクトリーポイントゲーム (Vポイントゲーム))

なお、延長戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

● 第5章 審判員

第6条 審判の任務と権限

1. 審判員

- (1) 審判員は、主審1名・副審1名とする。またコート責任者およびコート係を置くことができる。
- (2) 審判員は、中立公平を旨として、それぞれ協力して試合の充実に努めなければならない。
- (3) 審判員は、試合進行について、事故のないように努めること。
- (4) 主審の立つ位置は、センターラインと内野サイドラインの交わる場所とする。副審も主審と反対側の同じくセンターラインと内野サイドラインの交わる場所とする。

2. 主審の任務と権限

- (1) 主審は、競技の進行と判定を行うため、ホイッスルを所持する。
- (2) 主審は、副審やコート責任者およびコート係の補佐を受けながら、下記の任務を遂行する。
 - ① 正しく競技者が出場しているか確認する。
 - ② 試合終了の宣告をする。
 - ③ 試合開始の合図とともに主審から見た右側のチームの第一投者へボールを渡す。
 - ④ 「ヒット」を判定し、競技者に宣告する。
 - ⑤ 「相手ボール」を判定し、宣告する。

- ⑥ 「反則」を判定し、宣告する。
- ⑦ 「注意」を宣告する。
- ⑧ 勝敗の判定を行い、宣告する。
- ⑨ ブラインドプレーや判定に確信が持てないときなどには、副審に確認をしたうえで判定する。
- ⑩ ヘッドアタックや怪我につながるプレーがあった場合は、ゲームを一時中断し、競技者の安全を確認する。
- ⑪ 主審は、規則に明示されていないあらゆる問題に関して、判定を下す権限を持つ。

3. 副審の任務と権限

- (1) 副審は、特別な理由があるとき以外は競技を止めてはならない。ただし、危険防止や進行及び判定について主審に助言をするときは必ずゲームを中断して行う。
- (2) 副審は、ホイッスルを所持し主審を補佐しながら、下記の任務を遂行する。
 - ① ストップウォッチを所持し、オーバータイムや一時中断した時の時間の管理を行い、主審に伝える。
 - ② すべてのラインアウトを判定し、ホイッスルと動作によって主審に伝える。

- (3) 主審に事故があるときは、これに代わる。

4. コート系の任務

- (1) 試合をスムーズに進められるように主審・副審を補佐する。
- (2) ビブス係
 - ビブス係は、ヒットを宣告された競技者のビブスの脱ぎ忘れの確認と、元外野が速やかに内野に入るよう誘導する。
- (3) 外野係
 - 外野係は、ボールの管理とビブス系の任務を兼任する。

5. コート責任者の役割

- (1) 各コートに必ずコート責任者を1名以上配置する。
- (2) 主審の補佐をする。またストップウォッチとホイッスルを所持する。
 - また20秒ルールについてはコート責任者が計測をし、ホイッスルと動作により主審に伝える。
- (3) 試合時の各ベンチ内や広報係のマナー等の管理をする。
- (4) 試合時のトラブルなど、特別な理由があるときは、プレーを停止し主審に助言をすることができる。

● 第6章 競技の没収

第7条 競技の没収

1. 遅刻

指定場所へ指定時間までに集合しないチームに対しては、そのゲームを没収し相手チームの16対0の勝利とする。

2. 競技拒否

主審が競技を行うようチームに命じたにもかかわらず、これを拒んだときは、その競技を没収し、相手チームの16対0の勝利とする。

3. 不正出場

主審は、正当でない競技者が入っていると認めたとき、その競技を没収し、相手チームの16対0の勝利とする。

また、ベンチ入り許可証の申請をした選手の出場は認めない。

【チーム引率者への注意事項】

※駐輪場スペースには限りがございます。

公共交通機関および徒歩でご来館いただくなどのご協力をお願いいたします。

- ① 競技規則について引率者は必ず読んで確認をしてください。
- ② 各チーム代表者1名は午前の部は8時50分（午後の部は13時35分）より3階小体育室にお集まりください。
大会時における応援マナー等のお話をさせていただきます。
※時間の関係上、事務局からの説明のみとなりますのでご了承ください。
- ③ 受付は、必ずチーム引率者が行ってください。選手は、一度、3階武道場に荷物を置き、準備ができ次第、申込を終えた引率者とともに、3階大体育室へ移動してください。引率者は、受付の際に引率者カードをお渡ししますので、首にかけた状態で入場ください。開会式を始めるにあたり、選手・引率者は指定された場所に整列してください。
なお、チーム指定された待機場所のエリアをしっかりと守ってください。
- ④ 今大会の優勝・準優勝チームは、令和9年2月21日（日）に江東区スポーツ会館にて開催されるKOTO チャンピオンズリーグに出場できます。チャンピオンズリーグは、今大会で登録した選手と同じメンバーで出場していただきます。けがや病気などにより当日欠席される場合でも、受付時のメンバー確認の際、欠席する選手をメンバー表から外さないようにしてください。
- ⑤ 受付時に当日出場選手のエントリー確認を行い、第1試合開始時に最終確定を行います。（確定後の選手変更はできません。）また、当日、体調不良等で8名揃わない場合は、受付時にお伝えください。
- ⑥ 試合時間、試合コートの確認はチーム引率者が必ず行ってください。なお、チームの参加数により試合方法等に変更が生じる場合もありますので、必ず当日の対戦表と進行表の確認をお願いします。
- ⑦ 午前の部は9時より開会式を行います。開会式のご見学は防球フェンスの外側でお願いします。
※午後の部の開会式はおこないません。（準備体操・注意事項の説明のみ）
- ⑧ 開会式終了後、直ちに準備体操を行います。ケガ防止のため、必ず参加させてください。
- ⑨ 選手招集の際はアナウンスをいたしますが、スケジュール表に従い、次の試合の選手を招集場所に試合開始5分前までには集合させてください。
また、試合進行上、スケジュール表の時刻が前後することがあります。引率者が試合進行の確認を行ってください。
- ⑩ チーム引率者1名は、必ずベンチにお入りください。なお、ベンチに入れる引率者は2名までとし、試合中はベンチに座り応援してください。ベンチ内での撮影はできませんのでご注意ください。広報係の1名は指定された撮影エリアでのみ撮影し、前後半において移動もできません。（ベンチ入りもできません）。また、広報係は選手たちへの声掛けもできません。
それ以外の保護者の方々は防球フェンスの外側からご見学ください。
- ⑪ 審判と話が出来るのはベンチに入っている引率者だけとなります。判定に対する抗議や審判への抗議は認めません。試合後のご意見等は必ず引率者が大会本部に来てお話しください。

特定の選手・審判に対しての暴言等は禁止します。

- ⑫ 大会役員が相手を委縮させる大声による応援や特定の選手・審判に対しての暴言等と判断し複数回注意しても大会役員の指示に応じただけでない場合、ベンチや会場から立ち退いていただく場合がございます。こども達の見本となるようなリスクある応援マナーにご協力をお願い致します。
- ⑬ 試合は、学年別チーム別で行います。若干の待ち時間がありますので、試合待ちのチームは選手待機場所（3階小体育室）にて待機させてください。
- ⑭ 当日は見学者も含め全員室内履きをご用意ください。また、荷物の管理は各チームでお願いします。盗難防止のためにも、貴重品の持ち込みはご遠慮ください。
- ⑮ 施設内にはトレーニングジム等の利用者がいらっしゃいます。利用者の妨げになるような場所での準備体操及びウォーミングアップ等をご遠慮願います。また、ボールを使ったウォーミングアップも出来ませんので、ボールは持ってこないでください。
- ⑯ 試合では前・後半同じ番号のゲームベストを着用してください。なお、試合の前半に出場する選手は、ゲームベストの番号1～8を着用してください。また、試合開始前にあらかじめ前半に出場する選手、後半に出場する選手の外野3名を決めておいてください。（ヒットされ、脱いだベストは自分でカゴに入れること。）
- ⑰ 予選リーグ試合終了後、決勝リーグに進出できないチームは自由解散となります。なお、お帰りの際は、引率者・広報カードを3階大体育室内本部に返却してください。キャプテンマーク（リストバンド）とチーム名プラカードは返却する必要ありません。
- ⑱ 3・4年生の表彰式を12時15分頃（予定）からおこないます。各学年決勝リーグに進出したチームは、表彰式がありますので、試合が終了しても帰らずに、必ず表彰式に出席してください。
5・6年生の表彰式は16時15分頃を予定しています。
チームの横断幕等は試合時のみ防球フェンスからのみ掲示できます。
- ⑲ 各自で出されたごみは必ずお持ちかえりください。
- ⑳ 駐車場の混雑が予想されますので、公共の交通機関をご利用のうえご来館ください。駐輪場スペースにも限りがございますので、近隣の方は徒歩でご来館いただくなどのご協力をお願いします。
- ㉑ 当日は、CATV等の取材が予定されています。
写真掲載の可否については、参加申込書に予選会での可否が入力されていますので、変更があれば受付時に訂正してください。
- ㉒ 試合中のメガネ着用につきましては、ケガ・破損等も予想されますので、各自安全には十分注意をして参加させてください。主催者としたしましては、スポーツ専用メガネの着用を推奨いたします。
- ㉓ 女子選手1名のみの登録で、女子選手が試合中にケガをした際の競技判断について
女子が1名で、男子の控え選手がいたとしても当該選手がケガで退場した場合は、男子の補充はせず7名で試合を続行します。また、前半にケガで退場し後半復帰ができない場合においても、男子の補充はせず7名で試合を行います。この場合チームの失格とはせず、勝敗は通常のカウントをします。
なお、男子選手1名のみの登録の場合も同様とする。
- ㉔ 次の試合（ケガをした後の試合）に女子が出場できない場合について
 - a) 競技規則 第3条の4にあるように「失格」となります。
 - b) その場合の点数について、第7条の1から3と同様に相手チームの16対0の勝利となります。
 - c) 大会当日に体調不良などで6名になった出場チームで、男子がケガをした場合も同様の対応

(当該試合のみ)となります。⇒次の試合 5名以下「失格」となります。
d) 主審による裁定後、両チーム引率者の了承により、親睦試合として試合を行うことができます。
なお、男子選手1名のみの登録の場合も同様とする。

- ②⑥ ピン止め等は滑り止め付きのパッチンピン等（シリコン材質も可）を使用してください。
- ②⑦ 当日は引率者も含め全員室内履きをご用意ください。靴を入れる袋は各自でご用意し管理ください。
- ②⑧ フラッシュ撮影は禁止です。また三脚を使用しての撮影も禁止いたします。
- ②⑨ メガホンを含む鳴り物を使用しての応援は禁止します。
また、反射材などを使用した応援グッズで、試合に影響がでると判断した場合、使用を禁止することがございます。
- ③⑩ 大会当日に簡単なルール確認は行いますが、事前に競技規則をよく読み、十分に理解して試合に臨んでください。

疑問・質問などは以下までお問い合わせください。なお大会当日につきましては、大会本部にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

江東区スポーツ会館

担当 岡村・津田

江東区北砂1-2-9

TEL 3649-1701

FAX 3649-3123